

Hyper Ing 2013

"Hyper Ing"は上高生を応援する先輩メッセージです。上野高校 HP→進路指導室→進路通信 でバックナンバーが閲覧できます。

上野高等学校進路指導部 vol.19 2013/7/8

夏休み オープンキャンパスで視野を広げよう！

昨年上野高校から防衛大学校に進学した生徒がいたことから、自衛隊三重地方協力本部様から防衛大学校のオープンキャンパスに招待されました。進路主任の富澤が5月11日(日)に神奈川県横須賀市にある防衛大学校を訪れました。



10:00～ 防衛大学校の概要説明

1950年、朝鮮戦争を機に警察予備隊(52年に保安隊と改称)が発足、1954年に防衛庁と自衛隊が発足します。その幹部候補生を養成する機関として1952年に保安大学校が設立、54年に防衛大学校と改称されます。

防衛大学校は外国の「士官学校」に該当し、将来幹部自衛官として必要なリーダークラスとしてふさわしい資質を育成することが目標です。学生は「防衛省の機関に就職」という扱いで身分は公務員(だからバイトは禁止)、勉強することが課業(仕事)で授業料は不要、給料も支払われます(ただし任官拒否をすると返還義務が発生します)。4年間の教育で卒業時には学士の学位

が授与されます。海外の士官学校との違いは陸・海・空を志望する学生と一緒に勉強する点です(旧陸軍と海軍が独立性が強すぎたこと反省。2年生で振り分けられます)。卒業後に陸上・海上・航空の幹部候補生学校に入校し、専門的な教育や訓練を受けます。大学院に当たる研究科も設置されています。

10:30～ 各学科の紹介

記念ホールに各専攻のブースが出ていました。防衛大学校には人文・社会科学専攻と、理工学専攻があります。人文の学生の卒業論文には「リーダークラス論」、「ナチ党の大衆宣伝」など防衛に関するテーマが並びます。理工学専攻は電子、機械など大学の理工系とほぼ同じです。見学者の一番人気は航空宇宙工学科で、フライトシミュレーターの見学に必要な整理券を求める列ができていました。

共通科目としては教養、外国語、体育学、防衛学などがあります。訓練課程では敬礼や団体行動、射撃、8キロ遠泳、自衛隊の演習場での訓練、陸上・海上・航空の各専門訓練などがあります。また3年生は日米最大の激戦地であった硫黄島での研修を行います。





11:00～ 教官との懇談

学生会館で教官との懇談会に参加しました。他県からは生徒や保護者が多数来校していて、特に保護者の方が熱心に質問をしていました。以下は指導教官の話です。

防衛大学校は全員が学生隊に所属し、寮生活を送ります。学生隊は大隊、中隊、小隊に分かれ、小隊は上級生と下級生からなり、日頃行動をともにします。朝は0600(自衛隊の言い方で「まる、ろく、まる、まる」)起床、掃除、1630まで授業、校友会活動(いわゆる部活)の後宿舎に戻って入浴、アイロンかけ、自習、2230消灯と、月曜から金曜までは分刻みのスケジュールです。

長期休業のみ外泊可です。こうした集団生活を通じて、幹部自衛官としてのリーダーシップを身につけていきます。学業、課外活動、生活すべてが訓練といえます。

学生は総じて素直で、言われたことを吸収できる素直さや器の広さ、思いやりがあります。ただ集団生活になじめない学生もいて、その多くは5月ぐらいで退学します。

13:00～ 午後の授業の準備

学生は全員が食堂で昼食を取ります。休憩中に学生舎前で懸垂の練習をしていました(懸垂はテストがあるそうです)。13時になると学生は集合し、小隊ごとに隊列を組んで行進しながら授業に向かいます。

その後「校友会」の説明を聞きました。いわゆる部活動ですが、幹部自衛官としてふさわしい気力や体力を鍛えることが目的で、全員が体育会系に所属します。儀杖隊(小銃を使用するマーチング)は防衛大学校ならではの。

授業は英語を見せていただきました。英語教育に力を入れているということで、ネイティブの先生によるグループワークやディクテーション(ボストンマラソンの爆弾テロの記事でした)が行われていました。



14:00～ 学生舎の見学



学生舎の中は寝室と自習室がワンセットです。宿題もたくさんあるそうで、20時から2時間が自習の時間です。一部屋に8人が生活しています。現在は男女共学ですから女子の部屋もあります。小隊は上級生が下級生を指導するというシステムで、掃除をしっかりとやらないと上級生が叱られるそうです。身の回りの洗濯などはすべて自分で行います。

今回引率していただいた自衛隊三重地方協力本部伊賀地域事務所様には大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



色々な大学を見学して、興味が湧くことを見つけてみましょう！